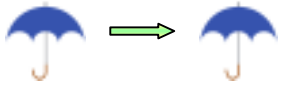

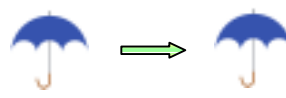

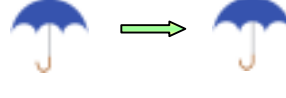

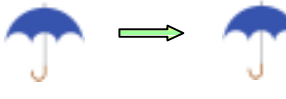

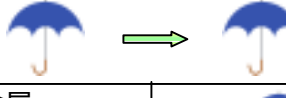

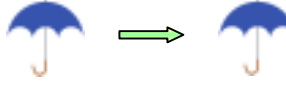



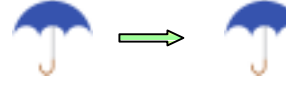












【産業動向概要】

産業全体 	<p>10年2月を中心とした県内経済は、輸出がプラスに転じ、さらに在庫調整の進捗や政策効果から生産活動は持ち直しつつある。しかし雇用・所得環境は冷え込んだ状態が続いており、その下で個人消費、住宅着工は減少が続いている。県内経済は一部に持ち直しの動きがあるものの、引き続き厳しい状況が続いている。</p>
--	---













































観光・旅館業			<p>伊豆地区の年末年始の宿泊状況は12月中旬の地震の影響もあり宿泊客数、売上とも前年比減少の厳しい状況。一方、河津桜まつりの観光客数も前年比減少、宿泊客数は前年比同程度が減少。</p>
紙類			<p>再生紙物トイレトペーパーの価格は下落傾向。メーカーは減産と併せ価格引上げを表明、市況の立て直しに動く。段ボール原紙の生産は昨年比横ばい程度に回復。</p>
水産業			<p>静岡県主要漁港の水揚量は、マグロ類やカツオ類の好漁により前年比約3割増。一方魚価は、不況による消費者の節約志向や円高による輸入品の値下りの影響で高級魚種を中心に低下し、総水揚高は前年比約1割減。</p>
一般機械（主要）			<p>金属工作機械は15ヵ月連続で前年割れとなり、先行きは厳しいと予想。金型も12月、1月と2ヵ月連続して減少に転じ、先行きは不透明。パルプ及び製紙機械、プラスチック加工機械もマイナス幅が拡大。</p>
木材			<p>県内新設住宅着工は依然前年割れが続き、今後の見通しも当面厳しいものと予想。製材品県内生産量についても前年比二桁近い減少が継続。製材用素材価格は、産地業者の出荷量の増加と円高を背景にした割安な外材製材品の増加により、一転して下落基調。</p>
缶詰			<p>水産缶は新型インフルエンザに対する災害用備蓄としての需要が一巡し、前年比1割減。野菜缶・果物缶は業務用の不振が影響し前年比1割減。飲料缶類は前年と同水準で推移。</p>
楽器			<p>主力のピアノは在庫調整と輸出の落ち込みに歯止めがかかり、2月の生産台数は17ヵ月ぶりに前年同月実績を上回った。電気・電子楽器類においても輸出がやや底を打った状態で推移した。一方、内需は前期までの状態と同様で低迷している。</p>

輸 送 用 機 器		 → 	<p>遠州地域の二輪車生産台数は、国内向け、輸出向けともに大幅に減少。ヤマ発などのリストラ計画で部品各社も厳しい経営環境が続く。一方、自動車部品生産金額は、中国などへの輸出増、エコカー減税などの政策効果などで前年比プラスに転じている。</p>
	二輪車 	自動車部品 	

				
明　　る　　い	やや明るい	停　　滞	やや不振	不　　振

《産業別天気マークの推移》

 明るい
  やや明るい
  停滞
  やや不振
  不振

調査対象時期 (公表時期)	08/1 (08/3)	08/4 (08/6)	08/7 (08/9)	08/10 (08/12)	09/1 (09/3)	09/4 (09/6)	09/7 (09/9)	09/10 (09/12)	10/1 (10/3)
概況 		→			→				
観光・旅館業 					→		→		
紙類 		→		→			→		
水産 		→		→		→			
一般機械(主要) 		→					→		
木材 									
缶詰 		→							
楽器 					→		→		
輸送用機器 		→	